

- 1 実施日時 11月13日(月)
- 2 実施学年 第5学年
- 3 実施教科 外国語科
- 4 単元名 「Lesson6 where do you want to go?」
- 5 学習の流れ

### Where do you want to go?

- 1 行きたい場所の情報を chromebook を活用して調べる。
- 2 学習した表現を活用して行きたい場所を発表する。
- 3 コラボノート EX 活用し「声量・目線・構成」などのポイントに注目してペアで相互評価をする。

### 6 Chromebook の活用

- 行きたい場所の情報を検索する。
- 発表を動画で撮影しコラボノートで見合うことで協働学習をする。

### 7 児童・生徒の様子

「どこへ行きたい?」「何をしたい?」の表現に親しむ単元である。国内の都道府県の特産物や観光名所については教科書に付属資料があったが、クロムブックを活用し、より詳細にそれぞれの魅力的な料理や祭り、気候や歴史上の人物のゆかりの場所などを調べた。

男女二人組のペアを作成し、学習した表現と調べた内容を用いてスキット(寸劇)発表会を行うことを最終目標として学習を進めた。その際、自分たちの発表の様子をクロムブックの動画で撮影し、共有フォルダに保存した。ペアごとに「片方は共有フォルダ、片方はコラボノート EX」を開き、「声量・目線・構成」などのポイントに注目して動画を見合い、コラボノートの付箋を送りあって協働学習を行った。



### 8 振り返り

情報を手に入れるという目的の他、「自分たちの発表の様子を客観的に観察する」という点においても、動画を撮影する活動は非常に有効であった。体育の学習でこういった活動はよく見られるが、外国語授業においても、客観視することで児童のメタ認知がより促進された。また、コラボノートで他ペアの発表の様子にコメントをすることで、具体的にどんなポイントに気を付けて自分たちの発表を作り上げていけば良いのかという視点が明確になった。学級経営の視点から見ても、こういった協働学習は非常に有効であり、児童が自然に協力する様子はその後の生活においてもよい影響を与えることとなった。

